

ついても、推薦することができます。

5) 推薦件数

本会から1件以内(自薦は受けません。)

6) 推薦用紙

本会のホームページ(上記参照)の「受賞候補者等推薦のお願い」の中から推薦書(本会内・選考用書式)をダウンロードして下さい。

(なお、推薦いただいた候補者が選考の結果、本会から推薦することが決まりましたら、改めて学振の所定の書式で推薦書等を作成いただくことになります。)

(6) 山田科学振興財団2015年度研究援助候補者の募集

[募集要項]

*詳しくは公益財団法人山田科学振興財団のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.yamadazaidan.jp/>

1) 援助の趣旨

自然科学の基礎的研究に対して援助する。実用指向研究は援助の対象としない

2) 選考に当たり配慮される点

- ① 萌芽的・独創的研究
- ② 新規研究グループで実施される研究
- ③ 学際性・国際性の観点からみて優れた研究
- ④ 国際協力研究

3) 援助額と件数

- ① 金額1件100～500万円、総額3,000万円、援助件数15件程度
- ② 援助金を給与に充てることは不可。

特に財団が指定した場合を除き、給与以外の用途は自由

- ③ 援助金の使用期間 贈呈した年度及びその次の年度の約2年間

4) 申請者資格

- ① 当該研究を独立して実施し得る方。当該研究者は代表研究者であることが必要で、単に研究グループの研究費集めの一端を担う方は不可。
- ② 身分、経歴、年齢等是不問。日本の研究機関に所属している方。
- ③ 所属機関長の承諾が必要です(推薦書用紙の「承諾書」の欄に機関長の署名と職印が必要)。

5) 申請手続き

- ① 所定の推薦書用紙に必要事項を記入したもの2部(正本1部、副本1部)
- ② 添付書類(詳細は推薦書用紙参照)
 - a. 関連主要研究論文リスト(A4版大)2部
 - b. 上記論文のうち1～3種の論文の別刷または写し2部
- ③ 上記①、②の紙媒体の必要書類を期日までに本会へご送付下さい。
- ④ また同時にすべてを記載した推薦書と添付書類(推薦書5ページ参照)をPDF形式で電子媒体(CD又はUSBメモリ)に保存の上、その電子媒体を山田科学振興財団に1部ご送付下さい。

[PDF化を行う際の留意点]

・推薦書6ページの承諾書欄は、署名捺印後にスキャンしてPDF化して下さい。PDFファイルに署名捺印が無ければ、承諾が得られなかったものとみなされ審査されないことがあ

ります。

- ・PDF形式のファイルは、推薦書と関連主要研究論文リスト(推薦書5ページ参照)を一つのファイルとして下さい。ファイル名は“申請者名(英文で姓-名).pdf”で保存して下さい。
- ・添付の論文がある場合は、論文毎にそれぞれファイルを作成し、“申請者名(英文で姓-名-論文名).pdf”で保存して下さい。

[電子媒体の送付先及び連絡先]

公益財団法人山田科学振興財団
〒544-8666 大阪市生野区巽西1丁目8番1号
電話 大阪(06)6758-3745(代表)

[推薦書用紙]

山田科学振興財団のホームページよりダウンロードして下さい。(ダウンロードでの方法のみとなります)

■第11回Jr.セッションの開催

2015年3月22日(日)に、第70回年次大会(早稲田大学早稲田キャンパス)会場において、標記Jr.セッションを開催します。詳細は本会ホームページをご覧ください。

■第70回年次大会会場における託児室の設置について

標記年次大会会場において託児室を設置します。詳細は本会ホームページをご覧ください。

■第70回年次大会の事前参加登録・事前講演概要集(Webアクセス権および記録用DVD版)の申込について

お知らせ

第70回年次大会から、参加登録費を一律1,000円値上げいたします。

また、講演概要集は従来の紙版(4分冊)から電子化(全領域収録)し、Webアクセス権(有料)と記録用DVD版(有料、大会終了後作成・送付)の頒布となります。

以上の経緯については、会誌8月号の会告をご覧ください。

注:会誌8月号において、概要集のWebアクセス期間は6か月間、それ以降は6か月間のみオープンアクセスとする旨のお知らせをしましたが、著作権等の関係で次のように変更します。

概要集Webアクセス期間:1年間のみとする。オープンアクセス期間は設けない。

標記年次大会が2015年3月21日～24日、早稲田大学早稲田キャンパスで開催されます。参加者には必ず参加登録をさせていただき、また講演概要集(Webアクセス権、記録用DVD版)の頒布もいたします。なお、申込方法は登壇発表をされる方とそれ以外の方では異なりますので、それぞれ以下の方法でお申込ください。参加登録費、講演概要集(Webアクセス権、記録用DVD版)の頒価は以下一覧のとおりです。

《登壇発表をされる方》

講演申込と同時に事前参加登録をしていただきます。その際、希望者は併せて講演概要集(Webアクセス権、記録用DVD版)もお申込ください。なお、講演申込方法は次項掲載の“第70回年次大会講演募集要項”をご覧ください。

《登壇発表者以外の方》

事前の参加登録と講演概要集 (Webアクセス権, 記録用DVD版) の申込方法は, 次号 (12月号) 会告で案内しますので, そちらをご覧ください。

参加登録費および講演概要集頒価一覧

参加登録費	期日前事前登録 (2月3日まで)	期日後事前Web登録 (3月5日から会期最終日12時まで)	会期中現地登録 (現金払いのみ)
会員 一般	6,000円*	6,500円*	7,000円*
学生 [注1] およびシニア会員	3,500円*	3,750円*	4,000円*
賛助会員	(本取扱いはありません)	6,500円*	7,000円*
非会員一般	(本取扱いはありません)	7,500円**	8,000円**
非会員学生 [注1]	(本取扱いはありません)	5,000円**	6,000円**

講演概要集 (全領域収録)	期日前事前登録 (2月3日まで) (送料・手数料込)	期日後事前Web登録 (3月5日から会期最終日12時まで) (送料・手数料込)	会期中現地登録 (現金払いのみ) (送料・手数料込)	会期終了後 (事務局に申込む)
Webアクセス権のみ購入	1,000円	1,250円	1,500円	
Webアクセス権と記録用DVD版購入	1,500円	1,750円	2,000円	
記録用DVD版のみ購入	1,000円	1,250円	1,500円	1,500円 +200円 (送料・手数料) [注2]

*消費税の扱い
参加登録費: *不課税 **消費税込
講演概要集 Webアクセス権・DVD版: 消費税込 (送料・手数料を含む)
[注1] 学生とは
学部学生, 大学院生等もすべて学生の取り扱いとなります。本会の会員種別の学生会員のことではありません。
[注2] 8部までの送料・手数料は同一料金です。お支払い方法等は次のメールアドレスまでお問合せ下さい。
お問合せ先 (E-mail): pubpubp@jps.or.jp

■第70回年次大会講演募集要項

第70回年次大会を下記の通り開催します。講演ご希望の方は以下の諸注意をよくお読みの上, お申し込み下さい。会員の方は締切日より以前に余裕をもってご対応頂くなどのご協力をお願いいたします。また, 決議3に関する講演申込の取り扱いについては, 本年誌1月号56ページをご覧ください。

A. 開催地, 期日, 開催分野

早稲田大学 早稲田キャンパス (東京都新宿区西早稲田 1-6-1)

期日: 2015年3月21日(土)~3月24日(火)

領域 (分野): 素粒子論領域, 素粒子実験領域, 理論核物理領域, 実験核物理領域, 宇宙線・宇宙物理領域, ビーム物理領域, 領域1 (原子分子・量子エレクトロニクス・放射線), 領域2 (プラズマ), 領域3 (磁性), 領域4 (半導体, メゾスコピック系・局在), 領域5 (光物性), 領域6 (金属 (液体金属・準結晶)・低温 (超低温・超伝導・密度波)), 領域7 (分子性固体), 領域8 (強相関系), 領域9 (表面・界面, 結晶成長), 領域10 (構造物性 (誘電体, 格子欠陥, X線・粒子線, フォノン)), 領域11 (物性基礎論・統計

力学・流体物理・応用数学・社会経済物理), 領域12 (ソフトマター物理・化学物理・生物物理), 領域13 (物理教育・物理学史・環境物理)

B. 講演申込締切期日

登壇者は講演申込と参加登録を同時に行ってください。

(講演申し込みは登壇者本人が責任をもって行って下さい。)

*Webページ 受付期間: 2014年10月31日(金)~11月23日(日) 17時

*郵送または持参 今大会より, 講演申込・参加登録および概要集原稿提出の郵送による受付は, 原則, 廃止といたしました。「F. 講演申込および参加登録の方法」をご覧ください。

*概要集原稿提出 締切: 2015年2月2日(月)午後12時必着
※締切以後に到着したものは受理しません。

Webページ (講演申込および事前参加登録):

<http://www.toyoag.co.jp/jps/index.html>

C. 講演発表者 (登壇者) の資格

講演発表者 (登壇者) は本会会員に限ります。

1) 発表 (登壇) 希望者が非会員である場合は, 講演申込締切期日までに入会申込手続きを完了すること。

(入会手続きを完了しない場合は, 最終的に講演取消になります。) 入会希望者は, 本号とじ込みの入会申込書を利用する。利用できない場合は本会事務局まで請求すること。なお, 入会申込中でもWebによる電子申込が可能ですのでご利用下さい。

注意1: アメリカ物理学会 (The American Physical Society), オーストラリア物理学会 (Australian Institute of Physics), イギリス物理学会 (The Institute of Physics), 韓国物理学会 (Korean Physical Society), 中華民国物理学会 (The Physical Society of Republic of China), ドイツ物理学会 (Deutsche Physikalische Gesellschaft), 香港物理学会 (The Physical Society of Hong Kong), ポーランド物理学会 (The Polish Physical Society), メキシコ物理学会 (Mexican Physical Society), ヨーロッパ物理学会 (European Physical Society), フランス物理学会 (The French Physical Society) の会員は本会会員と同等に扱う。ただし, これは各協定国在住の研究者の便宜を図るためであり, 継続的に日本国内に在住して研究活動を行うものは日本物理学会会員として登壇することが協定の趣旨上望ましい。

注意2: 領域12 (生物物理) 及び領域13 (物理教育) に関わる分野を共催する日本生物物理学会及び日本物理教育学会の会員も, 当該領域への申込に限り, 本会会員と同等に扱う。

注意3: 領域11に限っては, 下記の条件 (a~c) を全て満たせば非会員でも講演発表者 (登壇者) となることができる。

- (a) 「日本機械学会」或いは「日本気象学会」の会員であり, 且つ, 学生であること
- (b) 本会会員が共同講演者となっていること
- (c) 参加費 (非会員学生料金) に加えて, 登壇料 (5,000円) を支払うこと

2) 発表者 (登壇者) が会員である場合は, 共同講演者の中に非会員の方が含まれていても差しつかえない。

D. 講演発表の形式

口頭発表およびポスター発表 (物性の一部の領域のみ) とする。詳しくは, 「G. 各領域の開催方針」を参照。

a) 口頭発表

1題目につき一律10分の講演時間, 5分の質問時間, 計15分とする。